

船橋 YMCA 通信



No. 101 2018年3月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



障がい者理解体験教室を開催

2018年1月25日に法典東小学校で、2月26日に八木が谷北小学校で障がい者理解体験教室を開催しました。

1月25日の法典東小では4年生132名が車いす体験および視覚障がい体験を行いました。

ご協力いただいたボランティアの方々は、車椅子レクダンス協会矢車草のメンバー10名、法典東地区社会福祉協議会のボランティア4名、ボランティアセンターのスタッフ2名と千葉YMCAのボランティア4名でした。



《法典東小の車いす体験の様子です》

車いす体験は、介助される人と介助する人を交互に経験したあと、一人で車いすを操作する自走体験も行います。



《法典東小の視覚障がい体験の様子です》

視覚障がい体験は、アイマスクをして介助者の

手の袖を軽くつかんで白杖を使って階段の昇り降りを体験します。



《法典東小の車いすダンスの様子です》

車いす体験と視覚障がい体験が終わると、矢車草の皆さんの指導で、全員で車いすダンスを踊ります。



《法典東小の障がい者の講話の様子です》

体験教室の最後は、日常の生活を車いすですべて送っている方々から、困っていること、助けてもらって嬉しかったことなどのお話を聞きます。

法典東小の児童の感想文

原文のひらがなを漢字に変換して読みやすくしてあります。

・今日は、学校に来てくださりありがとうございました。アイマスクや車いすの体験で、目の不自由な人はどんなふうに変なのか、車いすはどう

いうものなのか、よく知ることができました。普段できないことをさせていただき、本当にありがとうございました。(4年女子1)

・1月25日はありがとうございました。車いすと視覚障がい体験をして、車いすはちょっと跳び箱の間を通る時に大変で、車いすを使っている人は大変なんだと感じて、車いすの大変なことが分かりました。視覚障がいは、階段を上ったり下ったりするのが怖かったです。特に、下るのがすごく怖くて、視覚障がいの人たちはすごく大変だと思いました。こんなに車いすと視覚障がいの人たちはすごいと思いました。(4年女子2)

2月26日の八木が谷北小では5年生76名が車いす体験と視覚障がい体験を行いました。

ご協力いただいたボランティアの方々は、車椅子レクダンス協会矢車草のメンバー9名、八木が谷地区社会福祉協議会のボランティア3名、ボランティアセンターのスタッフ2名と千葉YMCAのボランティア3名でした。



《八木が谷北小の車いす体験の様子です》



《八木が谷北小の視覚障がい体験の様子です》



《八木が谷北小の体育館の様子です》



《八木が谷北小の車いすダンスの様子です》

ふなばし市民活動フェアへ参加



2月3日(土)に船橋駅前のフェイスタイルの市民活動サポートセンターで開かれた船橋市主催「ふなばし市民活動フェア」に参加しました。今年は、ブース出展はやめ、6階のきららホールで、パネルのみの出展にしました。

《ふなばし市民活動フェアのYMCAパネル》

船橋YMCA活動記録

船橋YMCAの1月、2月の活動記録です。

- ・1月16日(火) 千葉YMCA常議員会
- ・1月25日(木) 法典東小障がい者理解体験教室
- ・2月3日(土) ふなばし市民活動フェア
- ・2月26日(月) 八木が谷北小障がい者理解体験教室

編集後記

障がい者理解体験教室は、これまでに69回開催され、9,100名を超える小中学生が貴重な体験をし、ご協力頂いたボランティアの方も延べ1,200名以上になりました。感謝!感謝!なお、今年の千葉YMCAインターナショナル・チャリティーランは10月13日(土)に行われます。(槇)